

# 2009 決算・2010 予算を賛成多数で可決

## 第46回評議員会

協会は第46回通常評議員会を15日、M&Dホールで開き、2009年度決算報告案、2010年度予算案をそれぞれ賛成多数で可決し、「明細書発行義務化撤回を」、「保険でよい良い歯科医療を 患者負担軽減!後期高齢者医療の即時廃止を求め」の二つの決議を採択した。新宅雅文議長、松倉晴明副議長、平川光彦副議長が会議を進行し、評議員39人、役員25人が出席した。

### 明細書義務化撤回を決議 患者窓口負担軽減

から、国会行動や府交渉など、国や自治体に向けて幅広く運動してきたことも紹介した。

第一号議案・2009年度決算報告案を三井泰正管理部長が提案、レセオオンライン訴訟や「医療どおし」の放送、保険でよい歯科医療連絡会の発足準備など、活発な運動をしてきたことが決議案の特徴とした。第二号議案・2010年度予算案は辻本勝副理事長が提案、組織拡大のための協会ガイドDVD作成など宣言を強めること、診療報酬改定対策費の計上

などが特徴だと報告した。評議員から会館建設積立金は計画的に毎年積み立てるべきではないかとの発言があったが、原案とおり同積立金を計上しない予算案を賛成多数で可決した。

#### 医療改善を参院選へ

議案の採決後、小澤力副理事長が、社会保障費抑制路線の転換やレセオオンライン請求義務化撤回を勝ち取った2009年度活動の成果を報告した。参議院選挙に向けて、①患者窓口負担軽減②保険でよい歯科の実現



議案に賛成の挙手をする評議員  
=15日、M&Dホール

伊津進弘理事長は、開会あいさつで、協会は会員の経営を守ることを絶対的な優先課題としな

要がある述べた。また、患者の願いである保険のきく範囲を広げ、良質な歯科医療を提供するために、診療報酬や歯科医療体系の改善提案を協会として発信していきたいと述べた。2009年度は、生涯研修講座、新点数説明会など多様な会員サービスに取り組みな

5/25  
2010年第1043号  
(毎月5、15、25日発行)

敬愛 志岐 会  
大阪府歯科保険医協会  
大阪府浪速区幸町1-2-33  
電話(06)6568-7731(代表)  
http://osk-net.org/  
●定価・年間10,000円 月1,000円  
●1977年5月23日第三種郵便物認可

## 医療・社会保障の行方

①

二宮厚美 神戸大学教授

診療報酬の実質ゼロ改定や後期高齢者医療制度の廃止先送りなど、民主党の医療政策が揺れている。7月の参院選では、社会保障充実公約の後退を許さず、実現させる好機となる。医療・社会保障について、二宮厚美神戸大学教授に4回にわたる選挙争点を明らかにしてもらう。

鳩山政権は、その発足の政治状況の最大の特徴当初、約7割の支持率を得たが、この5月段階では、危険水域といわれる3割を切り、2割台前半に落ち込んだ。これが参院選を目前に控えた日本

の支持率が低下しても、現在の最大野党自民党に対する支持率は一向に上昇していない。これが、参院選前夜の政治状況における第2の特徴である。一言でいえば、来たる



## 政権交代から政界再編へ

### 新党乱立も基調は新自由主義

党離れ」を起した有権者をごに引き寄せるか、という受け皿合戦が繰り返られることになるだろう。現代日本において相次いで新党が生まれている理由はここに求

「日本創新党」、これらすべて「二大政党離れ」の有権者を自陣にたぐり寄せるための受け皿がある。新党が目ざすのは、昨年の衆院選時のような政権交

参院選での「政界再編」へと、わずか一年足らずの間に、急変したわけである。

では、いままぜ政界再編が参院選の通奏低音になろうとしているのか。

それは、新党の主要な政策をみれば明らかになる。新党のスタンスは、①日米同盟を軸にした安保体制の維持②消費税増税による財政再建③新自由主義による福祉国家の分権的解体――の3点を基調にしたものである。これら3点は、実は、現在の民主党政権の内部にも存在するものである。したがって、もしこの3点を媒介にした政界再編が起これば、昨年の政権交代の成果は水の泡となる。新党の狙いはここに

紙面へのご意見や感想、投稿記事などを新聞部までお寄せください。紙面に掲載させていただいた場合は、図書カード3千円分を進呈いたします。(郵送やファクスで、協会新聞部までお寄せください)

③後期高齢者医療制度即時廃止――の声をさらに大きくするため、5・22近畿総決起集会と5・29保険でよい歯科医療連絡会結成総会への参加、国会請願署名と院長署名への協力を訴えた。

**明細義務化の狙い**  
小澤氏は、診療明細書の発行義務化やレセプト

への算定日記載について、「自公政権でさえできなかつた社会保障と税の共通データ化の狙い、国民の個人情報すべてを政府と一部の企業が思いのままに利用しようとするシステム」と厳しく批判、明細書発行義務化撤回、算定日記載撤回の重要性を訴えた。

#### 臨床・歯科学会部

### 明日からの実践に意欲

#### 新人スタッフ講座に94人



鏡を見ながら相互実習する参加者=16日、保険医会館

歯科臨床・歯科学会部は16日、新人スタッフ総合講座を開き、歯科衛生士、歯科助手あわせて94人が参加した。参加者は、基礎的接遇マナーから歯科の専門的知識まで学んだ。

接遇マナーでは、油谷純子氏(目白大学短期大

学部生活科学科教授・学科長)が「患者接遇の実際とコミュニケーション・スキル」をテーマに、マナー対応をテーマに適切な声の出し方や、おしぎの角度など、実践を交え指導した。

午後からは、歯科衛生士編、歯科助手編に分かれ、専門的な知識を深め

た。助手編では富本昌之氏(港区開業)が講師を務め、口腔内の知識や器具類、治療の流れをスライドで解説。歯科衛生士編では、各症例のブラッシング指導・コミュニケーションなどを解説した後、実習に取り組んだ。参加者からは、「明日から実践したい」「清掃補助用具の大切さや活用など初めて知ることも多くあった」などの声が寄せられた。

権力社会のトップは当然本当の変化を望まない。暴れまくったのは食うに困っていた下級武士層が主だが、坂本龍馬など金持ちも多かった。体制側テロリスト達の多くが今の高級外車よりも高価な佩刀を所持した。権力外の富が真の変革という狂気を生んだ。

今、日本の医療制度が完全崩壊の危機にある。だがそれは日本劣化の一部だから、医療人以外は深刻に考えていない。ビジョンも理想もなく表層の変化で財界へ迎合する朝令暮改は現場迷惑だけである。また社会を揺るがす狂気を育む新富裕層も霧の中にある。

#### 歯界

小泉の「変革」オバマの「チェンジ」という言葉に両国民は幻惑されたのだろうか。ただマスコミの調子に乗せられただけで真の歌手や服のデザイナーを愛する程度の変化しか望んでいなかったのか。我慢強い日本人が「日本を変えなければ」と本気で思ったのは幕末だった。それでも多くの庶民は食うのに精一杯で政治には知らん顔だった。